

公表

事業所における自己評価結果 児童発達支援

事業所名		HIYOKO STUDY館下教室			公表日		2026年 6月 2日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・児童と職員のマンツーマンのため、空間は広く設定できている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・個別支援のため児童と職員1対1の配置が行えている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・視覚的支援を多く取り入れている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・掲示物を付け過ぎず程よい景観を保っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・個室を使用して支援している。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・支援計画が目につく工夫がされているため、支援計画に基づくPDCAサイクルが日々職員間で行われている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎年評価表の配布を行い、頂いた意見をもとに業務改善を行っている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・職員間での意見交換は日々行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		・令和8年5月現在実施しておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・研修の機会は多くあると感じる。 ・毎月の必須研修があり、当日欠席した職員も回覧して全員が内容の把握を行っている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・事業所のホームページに公表されている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・細かくアセスメントを行い、課題等を分析した内容を計画書に反映させて作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・4月と10月の計画書更新のタイミングに職員間でモニタリングの内容と新計画書（案）の共有を図っている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・支援計画は全職員が都度確認できるようになっているため、内容にあった支援が日々行える環境になっている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・適応行動の状況把握は都度行っている。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・適切な支援内容が設定されている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	3	・個別支援のため担当職員が行うことが主となっている。	・他職員への情報共有は都度行っていく。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・担当職員が児童の状況によって支援内容を考案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	4		・個別支援のため集団活動はない。 ・児童の状況によっては、集団参加への促しを行う場合もある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	3	・個別支援のため担当職員が行うことが主となっている。	・他職員への情報共有は都度行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	・個別支援のため担当職員が行うことが主となっている。	・他職員への情報共有は都度行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・担当職員が記録を行っている。記録を見返しながら支援の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・年2回計画書作成のタイミングには必ず行っている。必要に応じて追加で行う場合もある。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児童発達支援管理責任者が参加している。 ・担当者会議前には職員間で話し合いを行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・協力医療機関の締結をしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・担当者会議等で情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・担当者会議等で情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	5		・関わりが持てていない。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7		・交流は行えていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・同席してもらい支援を見てもらいながら状況の共有を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・保護者様向けのペアレントトレーニングのお知らせを掲示するなどしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約の際に詳しく説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・保護者様から丁寧なアセスメントを行っている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・新しい計画書が作成された場合、書面を提示しながら説明を行い同意を頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・支援後のフィードバックや面談等の際に必要なに応じて行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		・保護者会は行っていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情解決責任者の設置をおこなっており、苦情があった際には適切な対応が出来る環境を整えている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・SNSを活用して情報発信を行っている。 ・個人あての連絡用ツールで活動の様子等も発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報に関しては全職員が十分に留意して取り扱っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・児童ひとりひとりに合わせた情報伝達の配慮が行われている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		・地域との関わりは少ない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			・家族への周知がまだ不十分な気もする。 ・定期的に知らせることが必要と感じる。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・業務継続計画の作成を行い、必要に応じた訓練も行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1		・全員の現状把握ができていない場合がある為、定期的に情報の共有を図っていきたい。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・食物アレルギーの児童の対応として医師よりエビペンの研修を受講している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・安全計画のもと安全管理が行われている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・契約時等に周知は行っている。	・定期的な周知が必要とも感じる。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・事例があった場合は都度報告書を作成し、事業所内での情報共有を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・全職員が研修を受講している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		・計画書への記載を行い、保護者様への説明等も行っている。 ・身体拘束に対する研修も行っており、全職員が共通理解をしている。	